

特集 みんな で 夢 実 現

平成28年度 市政執行方針と予算

今月の特集は、「市民協働により、住み良い、発展がつつく都市づくり」、「みんなで生き生き活力創造都市ちとせ」を市政運営の基本姿勢に掲げる、平成28年度の市政執行方針と予算のあらましについてお知らせします。

平成29年秋の開設を目指している、「休日夜間急病センター」イメージ図



毎年、1年間の目標を漢字一字に込めています。今年の「一年一字」は、「発（はつ、たつ、ひらく）」としました。

私たちのふるさと千歳は、先人が将来を夢見て築いた貴重な財産や潜在的な優位性などにより、着実に「発展」してきました。

いま、あらためてその魅力や潜在力を「発見」し、広く内外に「発信」することで、さらなる「発展」の循環につなげたいという思いを、この「発」という文字に込めました。

まちの魅力や価値をさらに高め、9万6千市民の皆さんが先人と同じく将来に「夢」や「希望」を持ち、「千歳に住んで良かった」と思っていただけまちづくりを目指し、全力でまい進していきます。

市政運営の 基本姿勢

市民協働により、 住み良い、発展が つつく都市づくり

千歳市の発展の歴史を振り返りますと、大正15年、当時の千歳村民が総出で無償の汗を流し、原野に造り上げた一本の着陸場が、現在の新千歳空港につながっていることに始まります。

先人は、私たちにこの貴重な財産とともに、「事に当たって一致団結する」という精神も同時に残していただきました。

少子高齢化や人口減少など、地方を取り巻く環境は厳しいものがありますが、このような状況にこそ、先人が残した精神に基づき、

市民と行政がそれぞれの役割を担って、まちの発展を支え合う、市民協働によるまちづくりを進めることが重要です。

このようなことから、まちづくりの目標を「市民協働により、住み良い、発展がつつく都市づくり」と掲げ、今後も、市民一人ひとりが真に夢を持ち、その夢が実現できる都市づくりを推進していきます。

みんなで生き生き 活力創造都市ちとせ

千歳市のまちづくりの基本指針として、平成23年度にスタートした「千歳市第6期総合計画」は、その後の社会経済情勢の変化や計画の進捗状況などを検証し、中間年となる平成27年度に

内容の見直しを行いました。

この見直しを踏まえ、計画の着実な推進を図り、平成32年度の将来人口9万7千人を達成するとともに、一人ひとりの市民の皆さんが夢と希望を持てるまちづくりを目指し、将来都市像「みんなで生き生き活力創造都市ちとせ」の実現にまい進していきます。

重点施策

まちづくりの目標を実現するため、特に重点化を図って次の施策に取り組みます。

第1に、「経済・雇用」です。地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、企業誘致や定住施策を積極的に推進するとともに、市が持



つ優れた資源を生かした観光振興やスポーツ合宿の誘致など、交流人口の拡大を進めます。

第2に、「市民協働・地域活動」です。市民協働のすそ野を広げる取り組みを進め、市民協働のさらなる浸透を図るとともに、市民の地域活動が充実するよう、町内会館の新築・改修の支援やコミュニティセンターの備品整備を行います。

第3に、「医療・福祉」です。市民が必要とする医療体制の充実をはじめ、休日夜間急病センターの新設により救急医療体制の整備を進めるとともに、高齢者や障がい者が安全に安心して自立した生活を送ることができるよう、地域福祉の充実に取り組みます。

第4に、「子育て・教育」

です。男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

また、小中学校にICT機器を設置するなど、教育環境の充実を図るとともに、安定した学校給食を提供できるよう、新たな学校給食センターの整備に向けた取り組みを進めます。

第5に、「環境・防災」です。千歳市を含む近隣の2市4町で構成する道央廃棄物処理組合により、ごみ処理広域化を進め、環境負荷の低減などを図るほか、防災備蓄倉庫の整備や防災行政無線のデジタル化に取り組むなど、市民が安全で安心して暮らせるための環境づくりを推進します。

当面する課題への対応

地域経済の活性化

我が国の経済は、回復の兆しが見受けられますが、依然として厳しい状況にあると考えます。このことから、企業誘致による雇用の場の創出、市が持つ観光資源・スポーツ施設などの活用によるまちの活力増加、新たな千歳市商業振興プランなどによるまちの賑わいづくりや商業振興につながる取り組みを進めます。

定住促進

人口の減少は、地域経済の縮小や市民生活の活力低下の影響が懸念されるなど、深刻な問題です。人口の増加が続いているいま、企業誘致の推進や自衛隊の体制強化、子育て支援、教育環境の充実など、さまざまな定住促進施策を複合的に進める相乗効果により、定住人口の拡大を目指します。

新千歳空港 24 時間運用枠 拡大と民営化への対応

新千歳空港の24時間運用枠拡大は、地域の理解により30枠拡大が合意されました。今後、住宅防音対策などが円滑に実施できるよう取り組みを進めます。

国は、新千歳空港の民営化に前向きな姿勢を示しており、北海道も民営化に関する課題整理などの方針を示していることから、今後の具体的な検討が進む見通しです。

市では、さまざまな観点から対応の方向性を検討し、考え方を述べるなど、取り組みを進めます。

自衛隊の体制強化

平成28年に予定されている「中期防衛力整備計画」の見直しに備え、既存部隊の充足率向上、新たな部隊の配置、地域コミュニティとの連携要望や「北海道における自衛隊の体制強化を求める中央大会」の開催など、体制強化を求める活動を強力に行います。

持続可能な行財政運営

行財政改革を引き続き進め「千歳市財政標準化計画」に基づき、安定的な財政基盤の確立に努めます。

また、公共施設などの維持は、多額の更新・修繕費用などが見込まれるため、改修・更新・長寿命化などを計画的に行う「千歳市公共施設等総合管理計画」を策定し、効果的で効率的な行財政運営を進めます。

あ

つつかみのある
地域福祉のまち

【地域福祉】▼市民主体の地域福祉活動やボランティア活動の促進▼生活困窮世帯の中学生を対象とした学習支援「ちとせ学習チャレンジ塾」に高校生を加え、新たに就職支援として、「就労準備支援事業」の取り組み【保健予防対策】▼新たな「千歳市健康づくり計画」に基づく生活習慣の改善や早期発見・重症化予防に向けた健康づくりの推進▼こころの健康づくりと自殺予防の取り組みの推進

【母子保健対策】▼不妊に悩む夫婦を支援するため、不妊治療の助成対象拡充や子どもを産み育てる環境づくりの推進

【医療】▼市立千歳市民病院の救急医療、小児・周産期医療、高度医療の充実▼病院機能評価の認定更新

【救急医療体制】▼平成29年秋の休日夜間急病センター開設を目指し、建設工事の着手や医師・スタッフ確保

【高齢者福祉】▼通所介護・



居宅介護など、地域密着型サービスの整備、介護予防事業の充実▼認知症初期支援集中チームや認知症地域支援推進員を設置し、認知症高齢者の支援体制の整備推進

【障がい者福祉】▼就労支援や相談支援体制の充実▼障害福祉サービスの提供体制の確保▼障がいのある方が安心して暮らすことができるよう地域生活の支援

【子育て支援】▼妊婦相談や母乳相談のほか、妊産婦の産前・産後ケアの充実を図る専任助産師の配置

【乳幼児期の教育・保育施設】▼幼稚園1カ所の幼保連携型認定こども園への移行▼小規模保育所2カ所の開設による保育定員の拡大

【子育て支援センター】▼子育ての孤立化や子育て不安の解消▼子育て世代を支援する取り組みの推進▼児童クラブについて、北陽小学校区は、平成29年度開設に向けた整備、緑小学校区は、新たな整備に向けた取り組みの推進

【子育て家庭に対する経済的支援策】▼児童扶養手当の第



2子以降の加算額の増額による子育て家庭の負担軽減

【障がいやその心配のある乳幼児】▼職員の資質向上や障がいの早期発見・早期対応に努めるため、こども通園センターの療育支援・認定こども園や幼稚園などへの訪問療育や巡回相談の継続

【男女共同参画の推進】▼男女平等意識の醸成や男女共同参画社会づくりに向けた普及啓発▼千歳市男女共同参画推進プランの策定

【町内会活動の支援】▼千歳市町内会連合会との連携による町内会の加入促進▼再編交付金を活用した町内会館の改修・備品整備事業などの実施

【コミュニティセンター】▼大和地区のコミュニティセンター整備や中心街コミュニティセンターの今後のあり方などの検討

【結婚を希望する独身男女の出会いの場】▼婚活パーティーや結婚のすばらしさ・家族を持つことの意義など、結婚を考えるセミナーの開催

【環境保全対策】▼新エネルギーの導入促進▼省エネルギー対策と温室効果ガス排出削減の推進

【廃棄物対策】▼持続的発展が可能な循環型社会を構築するため、家庭ごみの分別・減量に関するパンフレット全戸配布による啓発強化、リサイクルの推進

【ごみ処理広域化】▼2市4町で連携しながら、ごみ処理広域化の地域住民などへの説明▼建設コスト・運営コストの低減、環境負荷の抑制につながる施設建設への取り組み

【下水道事業】▼水質保全対策として、千歳川左岸地区の面的整備に着手▼支笏湖温泉地区の千歳処理区への統合に向けた污水管敷設の継続▼支笏湖畔下水終末処理場を汚水ポンプ場に改造

人

と地球にやさしい
環境のまち

【環境保全対策】▼新エネルギーの導入促進▼省エネルギー対策と温室効果ガス排出削減の推進

【廃棄物対策】▼持続的発展が可能な循環型社会を構築するため、家庭ごみの分別・減量に関するパンフレット全戸配布による啓発強化、リサイクルの推進

【ごみ処理広域化】▼2市4町で連携しながら、ごみ処理広域化の地域住民などへの説明▼建設コスト・運営コストの低減、環境負荷の抑制につながる施設建設への取り組み

【下水道事業】▼水質保全対策として、千歳川左岸地区の面的整備に着手▼支笏湖温泉地区の千歳処理区への統合に向けた污水管敷設の継続▼支笏湖畔下水終末処理場を汚水ポンプ場に改造

【防災】▼市民の防災・減災意識の醸成、自主防災組織の結成や育成支援▼大規模災害などの発生に備え、備蓄倉庫の整備や防災行政無線のデジタル化推進

【消防】▼大規模地震に対応する消防総合庁舎の耐震化▼高規格救急自動車更新

【火災の予防】▼火災発生件数の抑制と被害の軽減

【住宅施策】▼市営住宅みどり団地3号棟80戸の整備

【千歳川流域の治水対策】▼国との連携による遊水地などの整備促進

【在日米軍再編に係る訓練移転】▼訓練移転情報の提供▼国に協定の順守を求める要求▼訓練移転が継続される際の再編交付金継続の取り組み

【C経路】▼計画的な補修

【水道事業】▼浄水施設、配水管などの計画的更新▼安全でおいしい水の安定供給▼料金改定による収支改善を図るため、中長期的な「経営計画」の策定▼経営の健全性と事業の持続性確保

学

びの意欲と豊
かな心を育む
教育文化のまち

【教育行政】▼千歳市総合教育会議を通じ、教育委員会と連携した教育行政の取り組み

【学力向上】▼学習支援員の配置やハイパーQ.U.検査の実施拡大▼全中学校にデジタル教科書の導入▼小学校の少人数指導用教室、特別支援学級、中学校の理科室などに電子黒板などの設置

【いじめ・不登校問題】▼いじめの未然防止・早期の発見・対応に向けた取り組み▼スクールソーシャルワーカーの配置

【学校環境の整備】▼屋内運動場の非構造部材の耐震化や放送設備の更新、校舎の大規模改修などの推進

【教職員住宅】▼管理職住宅1校1戸の整備▼一般教職員住宅の整備方針策定

【特別支援教育】▼特別支援教育支援員の増員▼医療的ケアを行うため、学校看護師の配置

【学校給食センター】▼新センターの整備に向け、調理場の機能や設備、施設規模などの基本調査▼外部検討委員会の設置

【生涯学習】▼市の自然環境や生活環境などを生かした学習機会の充実▼生涯学習情報メールマガジンなどを活用した情報発信▼緑小学校に放課後子ども教室の開設

【文化財】▼国指定史跡キウス周堤墓群の普及啓発事業の実施や世界文化遺産登録に向けた取り組み



青年海外派遣研修で台湾に
出発する中高生

【スポーツの振興】▼総合武道館、温水プール、青葉公園テニスコートなどの計画的な改修

【国際交流の推進】▼情報紙などを通じた市民への情報提供▼国際理解の促進と国際交流機会の拡充

【姉妹都市などとの交流】▼幅広い分野の友好交流を推進▼中国長春市とマラソンを通じたスポーツ交流事業の実施



活

力ある産業拠
点のまち

【農業の振興】▼安全・安心な農畜産物の生産体制の整備▼地産地消の推進▼関係機関・団体などと連携した貿易の自由化に伴う情報の把握▼国などの補助・助成制度の活用

【グリーン・ツーリズムの推進】▼都市住民が農村地域の景観や食と農の魅力を実感できる機会の拡充▼観光客などに市の魅力を情報発信

【優良農地の確保】▼土地改良事業の推進▼農業用施設の適正な管理・機能保持▼農業・農村が持つ機能の維持・発揮のため、地域の共同活動を支援

【支笏湖産ヒメマス】▼ふ化



【工業の振興】▼道外の企業を対象とした企業立地動向調査の実施▼積極的な情報発信▼製品の開発・製造を行う創業者などへの支援

【立地企業】▼操業状況などの把握▼各種助成制度の利用や課題解決、販路開拓に向けた支援▼企業間のビジネス

平成28年度予算 未来へ続く はっしん “発進” 予算

予算の内訳

一般会計	377億3,850万9千円 (375億7,676万3千円)
特別会計	156億2,611万3千円 (157億4,984万円)
国民健康保険	96億8,774万7千円
土地取得事業	38万円
公設地方卸売市場事業	4,087万3千円
霊園事業	4,599万2千円
介護保険	49億2,399万8千円
後期高齢者医療	9億2,712万3千円
公営企業会計	152億8,743万円 (148億7,334万3千円)
水道事業	32億3,650万7千円
下水道事業	51億7,383万4千円
病院事業	68億7,708万9千円
合計	686億5,205万2千円 (681億9,994万6千円)

一般会計の歳入内訳

一般財源	247億9,560万1千円 (248億2,397万円)
特定財源	129億4,290万8千円 (127億5,279万3千円)
合計	377億3,850万9千円 (375億7,676万3千円)

※一般財源は、市税など市が使い道を自由に決められるお金です。
 ※特定財源は、国や北海道の支出金など、使い道が決められているお金です。
 ※()内は、平成27年度の補正後の予算額です。

マッチングやネットワークの強化、産学官連携を促進した地域内経済の振興

【高度技術産業の集積】▼千歳科学技術大学の学術研究機能を生かした産学官連携の研究開発活動や最先端研究設備などの利用促進▼研究開発支援機関などの事業を活用した新製品・新技術の開発などの支援

【商業の振興】▼事業者の自発的な取り組みによる個店の魅力化や事業者の連携づくりなどの支援▼商業活性化や中心商店街の賑わい再生の取り組み

【中小企業に対する経営支援】▼関係機関との連携による事業活動の安定化や育成・拡大

【流通機能】▼公設地方卸売市場の活性化や売上高向上などの取り組み、運営のあり方などの検討

【観光振興】▼観光客が楽しく安心して市内観光ができるよう市のホームページや観光ガイドの充実▼交流人口の拡大に向けた取り組み

【道の駅サーモンパーク千歳】▼長く愛される施設となる取り組み▼サケのふるさと千歳水族館との相乗効果が高まるような支援

【スポーツ合宿・大会の誘致】▼スポーツ合宿や大会誘致などの活動を実施▼スポーツ施設使用料の減免拡充など支援制度の充実▼関係機関・団体などとの連携による訪日外国人などに向けたゴルフツアーなどの促進▼市民を対象としたアスリートなどによるフォーラムの開催

【雇用】▼関係機関との連携による市民の就労支援▼人材を確保するため、UIJターン事業の充実▼女性の



就業促進、若年者の就労意識の形成に向けた取り組み

【道路整備】▼幹線道路や生活道路の計画的な整備▼仲の橋通歩道のバリアフリー化に着手▼朝雲橋や日の出橋の修繕工事に着手

【道路の維持管理】▼適切な維持管理と施設の長寿命化、計画的な改修・更新

【道央圏連絡道路】▼平成31年度完成供用開始に向けた、国への整備促進の要望▼道道泉沢新千歳空港線の4車線化と延伸計画について、北海道や関係団体と連携した事業化の促進

【交通政策】▼千歳市交通戦略プランに基づき、市民の利便性や交通事業者の経済性、行政における公共性のバランスがとれる市内バス路線の再編をはじめとした各種交通施策を展開し、誰もが使いやすい、さまざまな

【新千歳空港】▼北海道や関係団体と連携しながら、国内外の航空路線の維持・拡充、空港機能の強化など、

【市機能が充実したまち】

世界陸上競歩 日本代表の表敬訪問

国際拠点空港への推進

【公園緑地の整備】▼遊具の更新や撤去・改修をはじめ、高齢者などに配慮したバリアフリー化を推進

【千歳川周辺の環境整備】▼千歳川沿いの河川緑地に桜の植樹を進め、市民に親しまれる水辺環境の整備

【公園緑地の整備】▼遊具の更新や撤去・改修をはじめ、高齢者などに配慮したバリアフリー化を推進



行政経営の基本目標

市民協働による自主自立の行政経営

【市民協働の推進】協働事業などの実施を通じて、市民協働の理念を伝え、すそ野を広げる取り組みを進め、市民協働のさらなる浸透を図ります。

【市民の参加によるまちづくり】広報ちとせ、市ホームページ、市長の出前講座、市政ガイドなどにより、市政に関する情報提供を図り、市民の市政に対する理解や関心を促すとともに、市長への手紙・ポスト、パブリックコメントなど、さまざまな方法により把握した市民の意向を市政に反映します。

【市役所の第2庁舎建設】まちづくりを推進する中核的な公用施設として、市民が多く利用する窓口の集約化や開放的な展望を有する食堂の設置など、市民が親しみやすい庁舎を目指すとともに、防災拠点として高い耐震性能を有し、自然環境にやさしく経済性や維持管理にも配慮した庁舎となるよう取り組みを進めます。

【住民票交付などの窓口サービス】平成28年1月から交付が始まった個人番号カードを活用して、市民が身近なコンビニエンスストアで住民票などの証明書を受け取ることができるよう、コンビニ交付を導入します。



第6期総合計画に掲げた「まちづくりの基本目標」と行政経営の基本目標別の主要な施策のうち、重点施策に掲げている事業予算についてお知らせします。

活力ある産業拠点のまち

事業名	予算額
若者・女性等就職サポート事業	40万1千円
経営安定化対策事業	6,806万7千円
新規就農者特別支援事業	675万円
多面的機能支払事業	5,488万4千円
支笏湖ヒメマスふ化場附帯施設整備事業	1,213万円
企業誘致推進事業	1,174万4千円
立地企業振興事業	1億5,376万2千円
商店街振興事業補助事業	741万6千円
商業等活性化事業	851万9千円
観光PR事業	1,099万1千円
観光スポーツ連携事業	424万6千円

都市機能が充実したまち

事業名	予算額
新千歳空港 24時間運用枠拡大に伴う周辺環境対策事業	6,033万7千円
新千歳空港整備事業	1億5,898万5千円
橋梁長寿命化対策事業	1億4,120万円
道路ストック整備事業	1億3,544万1千円

市民協働による自主自立の行政経営

事業名	予算額
第2庁舎建設事業	5,198万3千円
自衛隊体制強化要望活動事業	142万円
市民協働推進事業	745万2千円

平成28年度の予算は、財政標準化計画の目標達成を基本に扶助費などの財源を確実に措置しながら、一定の事業量を確保するとともに、定住促進、子育て支援などの各種施策を着実に進め、千歳のさらなる発展を目指し「未来へ続く“発進”予算」として取りまとめました。

この結果、一般会計の総額は377億3,850万9千円となり、平成27年度の政策予算を追加した後との比較では、1億6,174万6千円、0.4%の増となっています。

また、一般会計、特別会計、公営企業会計の総額では、平成27年度の補正後の予算に比べ0.7%の増、686億5,205万2千円となりました。

平成28年度 主要な施策と発進予算

あったかみのある地域福祉のまち

事業名	予算額
町内会館整備事業	1,238万9千円
町内会館改修事業	2,822万2千円
生活困窮者自立支援事業	1,355万7千円
介護サービス提供基盤等整備事業	6,130万9千円
障がい者就労支援事業	1,256万9千円
北陽小学校区学童クラブ新築整備事業	9,113万8千円
緑小学校区学童クラブ新築整備事業	252万7千円
医療体制整備事業	1億3,655万3千円
休日夜間急病センター整備事業	1億5,132万5千円
不妊治療費助成事業	588万5千円

人と地球にやさしい環境のまち

事業名	予算額
エコチャレンジ補助事業	251万円

安全で安心して暮らせるまち

事業名	予算額
C経路舗装補修事業	1億1,930万円
公営住宅建替事業(みどり団地)	7億940万円
防災行政無線デジタル化整備事業	738万8千円
防災備蓄倉庫整備事業	1,071万5千円
消防総合庁舎改修事業	1億358万円
小学校非構造部材耐震化事業	477万5千円

学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

事業名	予算額
国際交流事業	653万3千円
学力向上推進事業	3,031万7千円
教職員管理職住宅建替事業	2,191万4千円
小・中学校ICT機器等整備事業	5,202万7千円
小・中学校大規模改修事業	2億4,045万8千円
放課後子ども教室推進事業	37万4千円
縄文遺跡群世界遺産登録推進事業	123万8千円
国指定史跡整備事業(キウス周堤墓群)	1,201万円
新給食センター整備事業	614万1千円
青葉公園庭球場改修事業	2,800万円
温水プール改修事業	3,070万円

記事のお問い合わせ

市政執行方針 企画課企画調整係
について ☎(24)0439

予算について 財政課財政係
☎(24)0541